

コロナの教訓

いちかは ひろし
市川 浩

五月二十五日新型コロナウイルスの緊急事態宣言は全国的解除となれり。なほ油断は禁物なるも、感染者数、死者数など諸指標は世界先進大國中最優秀にて本来ならば勝利宣言となるべき所、折から東京高検検事長の賭け麻雀發覺ありて、巷間に政治不信廣がり折角の快舉も評價する尠く、單に首相以下政府關係者のみならず、博く國民の士氣を寧ろ沮喪せしめたり。仄聞するに同検事長は無類の麻雀好きにて、今月既に二回目にて泥掬ひスックルに遭ひけりと云々。然れど同氏の定年延長に就き物議ありて、餘燼未だ收らざるの時期に於ける行動と觀ぜば、不審を感じざるを得ず。

一方世界保健機構年次總會は我が國の緊急事態宣言解除直前の五月十八、十九の兩日にて、残念ながら日本の實績發表の場とならざりけるは、安倍内閣ならずとも不運を託つのみなり。

然れど我が國の好成績は「要ファクター因X」として既に海外の關心を惹きをり、孰れ日本評價の昂揚あるべく、こゝは待ちの局面とこそ諦むべけれ。

衛生面より考ふれば、密閉、密集、密接の三密回避を呼掛くる施策の成功と言ふべく、元來歴史的に風通し良き木造家屋點在の農村風景を、今日の洋式マンションに栖む日本人に郷愁の如く想ひ起させしめたり。なほ密接に就きソーシャルディスタンス社交的距離なる新概念導入あり、劇場など軒並み觀客縮減あり。舞臺藝術には舊來靜かに鑑賞し來りしが、最近は觀客同志の大騒ぎ、此も考へ直さざれば、劇場藝術は滅亡の危機に晒されむ。

今回の我が國新型コロナウイルス對應に於て、幸運と思へるはダイヤモンドプリンセス號の事案なり。乗員乗客併せて三千數百名の全員検査完了は略々一ヶ月を要せり。此の意味する所は決め手となるPCR検査態勢の全くの不備にして、早急の擴充策も亦不可能と判明す。そのため結果として、各地の保健所運営の「歸國者・接觸者相談センター」への電話相談を以て一元的の初動受附を實現したるが、效率的醫療を可能とせり。今後豫想せらるゝ冬季感染擴大に備へ、識者擧りてPCR検査態勢の擴充を強調す。然りながら寧ろ急ぐべきは「相談センター」への電話相談の態勢整備にして、今回症狀發現後百回電話するも繋からざる事例頻發の解消こそ、「勝ちて兜の緒を緊む」の要諦ならずや。

一方、「經濟」面にては、休業要請等による企業の活動低下に伴ふ減産、減益並びに雇傭の低迷を補償として莫大の國費を投ずるに至る。然るに一方にては醫療従事者や器具の生産者など、更には各種補償の實施等にさへも人手不足顯在化す。敗戦直後荒野と化せる國土の復興のため行はれたる炭鐵傾斜生産には、他産業からの應援派遣相繼ぎ産業復興の基礎を固めたり。

單なる補償金支給に加へ、産業間の人的相互活用は災ひを轉じて福となす施策として近未來の南海トラフ津波や東京直下型地震の災害對策にも必須事項と史料せらる。

(令和二年五月三十日受附)